

# 稲作だより

第2号

令和8年4月9日発行

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動

JA さがえ西村山 JA さがえ西村山水稲部会

TEL : 0237-86-8184

西村山農業技術普及課 TEL : 0237-86-8301

**今後も気温は高く推移する見込みです！**

**浸種・育苗時の温度管理を徹底し、健苗育成を行いましょ！**

## 播種準備のポイント

### ○ 浸種

- ・水温 **10～15℃**、積算温度（日平均水温×日数）で「**120℃**」を目安に浸種を行います。
- ・浸種開始時の水温が **10℃以下**だと、**発芽が不揃い**になります。
- ・浸種時の水温が **15℃以上**になると、**ばか苗病の発生リスク**が高まります。また、浸種中の水槽に直射日光が当たると水温が上昇するとともに、水槽内で温度ムラが生じやすくなります。**水槽は日陰や屋内に置き、水温が15℃を超えないように管理しましょ。**
- ・浸種時は2～3日ごとに水を交換し、時々種子袋の上下を入れ替えるなどして、酸素不足や温度ムラにならないよう管理しましょ。

### ○ 催芽

- ・**30～32℃**の温湯に、芽と根が**1mm**程度出た「ハト胸状態」になるまで浸します。
- ・令和7年産種子も、登熟期の高温の影響で休眠がやや深くなっていると見られます。例年よりも催芽に時間がかかる場合があるため、**種籾の9割がハト胸状態になったことを確認し、催芽を終了しましょ。**



### ○ 播種

- ・苗種に応じて、適正な播種量（乾籾重）と育苗日数を守りましょ（表1）。
- ・移植適期（5月15～20日）から逆算し、適正な時期に播種作業を行いましょ。
- ・播種時の灌水は覆土前に行い、覆土に水が染みしてくる程度を目安にしましょ。

表1 適切な播種量と育苗日数

苗の種類	乾籾重(g/箱)	葉数	育苗日数	必要箱数
稚苗	150～180	2.5枚	<b>20～25日</b>	22箱/10a
中苗	80～120	3.5枚	<b>30～35日</b>	27箱/10a

### ○ 育苗時の施肥

- ・基肥施用量は窒素成分で **2g/箱**を基準としましょ。
- ・購入培土を使用する際は、保証分量を確認し、苗の種類に応じて追肥しましょ（表2）。

表2 追肥時期の施肥量

苗の種類	追肥時期	施肥量(窒素成分量)
稚苗	1.8葉期	1g/箱
中苗	2.0葉期と3.0葉期	1g/箱

育苗用肥料に緩効性肥料を使用している場合、追肥は不要です。

## 育苗初期のポイント

### ○ 育苗初期の温度管理

【育苗時の適切な温度と注意点】

生育期別の温度		昼間	夜間	管理のポイント
出芽期	加温出芽	30～32℃：2日程度		○無加温では、出芽が揃うように、保温資材を活用するなど、こまめな温度管理を行う。【高温障害に注意！】
	無加温出芽	日中：35℃以下 (約1週間)		
緑化期（1.0葉） (出芽後3日程度)		25～30℃	15℃	○外気温が25℃以上の日は要注意。 午前中の早い段階でハウスを開ける。
緑化期以降		20～25℃	8℃以上	○翌朝に霜が予想される場合は、夕方の早い段階でハウスを閉める。

### ○ 出芽揃いまでの管理

- ・**温度計は2つ**（①ハウスに吊り下げて苗の高さに設置、②苗箱の土中に差し込み）準備し、苗の近くの実際の温度を確認しましょう。

【無加温出芽の場合】

- ・出芽揃い後も被覆を続けると軟弱苗になるので、芽の長さが覆土から**5～10mm**になったら被覆資材を外します。

【加温出芽の場合】

- ・必ず芽の伸びを確かめて育苗器から苗箱を取り出します（育苗器に入れる目安は2日間）。
- ・事故防止のため、温度調節器（サーモスタット）は使用前に必ず点検し、温度計で実際の温度とズレがないか確認しましょう。

### ○ アルミ蒸着シート使用時の注意点

- ・アルミ蒸着シートを使用する場合は、好天時に播種を行い、苗箱を並べた後、苗床の温度が**20～30℃となるように日光で温めて**からシートを被覆して、シート内の適切な温度を確保しましょう。
- ・苗床の温度が**32℃を超えると高温障害の発生リスクが高まる**ため、温度計で必ず確認しましょう。  
※出芽揃い後も被覆を続けると、苗は軟弱徒長になります。出芽後は速やかに資材を外しましょう。

### ○ 基肥の施用時期

【基肥(速効性肥料)】

- ・圃場に施用された後、時間の経過とともに流出します。  
→ **基肥(速効性肥料)**は、**できるだけ代かきの直前に施用しましょう。**

【基肥一発肥料(緩効性肥料)】

- ・移植日を施肥日として設計しているため、施肥から田植までの間隔が長くなると、生育後半に窒素が不足する恐れがあります。  
→ **基肥一発肥料(緩効性肥料)**は、**移植 10 日前以内の施用を心がけましょう。**

JA さがえ西村山 LINE アカウントからもご覧になれます。登録は QR コードからお願いいたします。



太陽と自然の恵み

**農作業 あせらず！気もまず！ゆっくりと！**